

# 東海環状自動車道 発掘調査だより

(田辺城跡 (第3次) 発掘調査概要)

いなべ編 No.8

三重県埋蔵文化財センター

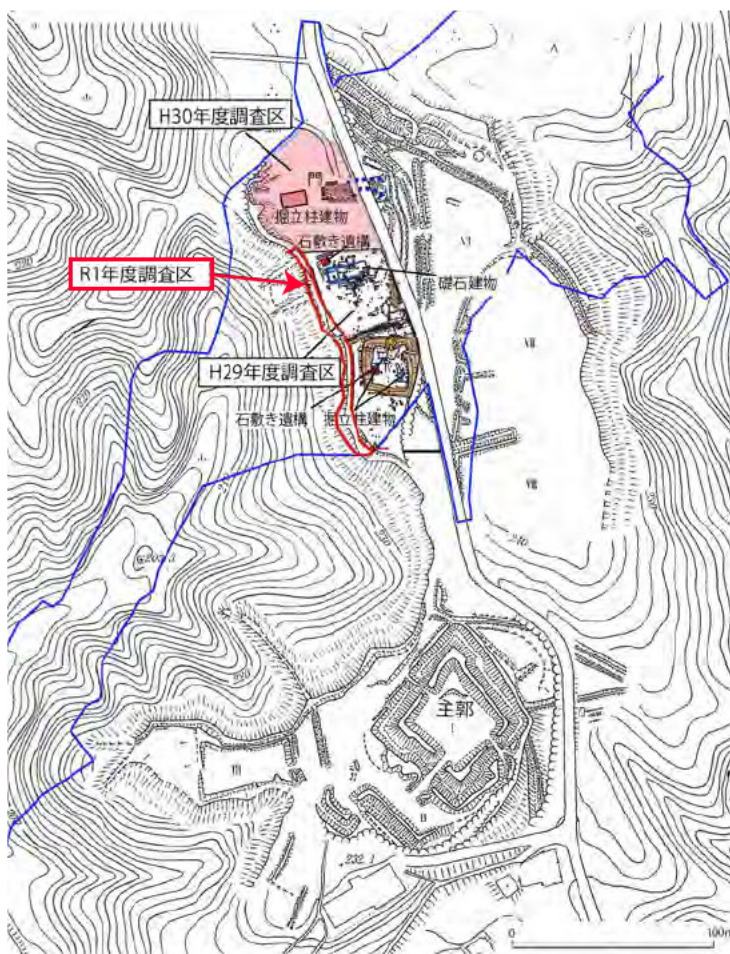
2019.11.16

## はじめに

三重県埋蔵文化財センターでは、平成29年度から東海環状自動車道建設事業に伴い、いなべ市北勢町田辺にある田辺城跡(たなべじょうあと)の発掘調査を行っています。

平成29・30年度の発掘調査では、3か所の屋敷地が見つかりました。土塁に囲まれ、掘立柱建物と「蔵」と考えられる石敷き遺構がみられる屋敷地、礎石建物と石敷き遺構がみられる屋敷地、掘立柱建物、門、通路などがみられる屋敷地があり、これらは一定の間隔を空けて集中して見つかっています。田辺城は、天正14(1586)年頃に木造氏により築城されたと伝えられており、出土遺物から田辺城が利用されていた時期の建物跡と考えられます。

令和元年度は、平成29年度調査区の西側斜面を中心に約700㎡の調査を行いました。



伊藤徳也『再発見・北伊勢国の城』2008より 一部加筆

遺跡名 田辺城跡  
原因事業 東海環状自動車道建設事業  
調査委託 国土交通省中部地方整備局  
調査主体 三重県教育委員会  
調査担当 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503  
TEL:0596-52-1732/FAX:0596-52-7035 <http://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/index.shtm>  
いなべ整理所 〒511-0415 三重県いなべ市北勢町東貝野 454 番地  
TEL:0594-72-8955/FAX:0594-72-8970



調査区遠景（北から）



調査区北部斜面（北から）



調査区中央部斜面（北から）



調査区中央部斜面（北から）



調査区中央部（北から）



調査区南部（北から）



調査区南部斜面（北から）



壁面の焼けた土坑（北から）

## 調査の結果

第3次調査では、遺物は1点も出土せず、遺構も壁面の焼けた土坑が1基見つかったのみです。平坦面から斜面にかけてみられる土塁状の高まりは、地山を削り出したもので、平坦面を拡張するために土塁状に土が残った（土塁として残した？）ものと考えられます。調査区中央部では通路の可能性のある平坦地がみられますが、整形したものなのか自然地形なのかは判断できませんでした。また、斜面の一部には礫が多数見つかっていますが、これらは帯状にみられることから地山に含まれた礫と考えられます。今後断ち割り調査を行い、さらに調査を進めていきます。